



THE OGURA TIMES

港区と区議会をもっと身近に

2017.01 港区政レポート Vol.7

2017年、新しい年の始まりです。

旧年中は温かいご支援・ご協力をいただいておりますことに心より感謝いたします。区議会議員1期目、4年の任期のうち早くも1年と9ヶ月が経ちました。これからもできることをひとつずつ、初心を忘れず、緊張感を忘れず、地域のために真摯に取り組んでいきます。



地元麻布十番商店街をはじめ、地域との繋がりの中からたくさんの発見がありました。みなさんのお声が小倉りえこの政策です。みなさんからのご意見を議会で取り上げ、教育・産業・医療・福祉など幅広い分野における提案を区に採用していただきました。



10月開催のみなと区民まつりでは今年も風船と『こども議員バッジ』を配布。

都議報告会司会の貴重な経験もしました。

時には区に対して厳しく指摘もしてきました。

別府市、仙台市、和歌山市、千歳市に赴き、障害者福祉から防災までを視察。



一年の活動を振り返り、今年も第1回議会終了後に区政報告会を行う予定です。どのような視点で物事を考え、どのように提案をし区の政策に反映されたかをご報告します。日時等の詳細は3月に公式ウェブサイトにて掲載します（報告会は3月下旬～4月上旬を予定）。

これからも区発展のために貢献できるよう、区議会議員としての務めを果たせるよう、精一杯取り組みます。

ひとつひとつの課題に積極的に取り組んでいます



麻布十番駅近くのパティオ通りの修繕

道路整備・維持管理は舗装を含め、常に健全な状態を維持することが大切です。長い年月で地盤や交通量などによる損傷や劣化、路面陥没などの修繕を継続して行われるよう、区の計画に反映してもらうようにみなさんの声を届けていくことも区議会議員の役目のひとつです。

地域の声をもとに、20年以上前に整備された道路のスポット修繕をことあるごとに依頼してきましたが、ようやく麻布十番商店街エリアの該当する約40mの道路の維持工事が始まりました。1月中に終了予定です。今後も凹凸のできにくい、修繕しやすい道路整備をお願いしていきます。

がん対策とうきょう・みなと2016はがん対策に関わる普及啓発イベントとして秋に初めて開催されました。港区はがん予防や患者への支援で専門知識を有する団体の協力を得るため、ファイザー株式会社、株式会社KEA工房、東京都美容生活衛生同業組合 港区美容組合 三支部連合会と連携協定を結びました。

行政だけでできる事は限られていますが、民間との連携で支援の方法や質が向上される事を期待しています。これからも医療政策面で区がより良い判断ができるような提案を心がけていきます。



国際理解教育に関して正解はありません。高校生で海外に渡り、約11年を海外で過ごした私だからこそ、この課題に大きな関心があります。区内のインターナショナルスクールを視察し、外国人女子・日本人帰国子女への教育機会と教育環境を学びました。自ら考え、自主的に行動することを推奨する教育は大いに参考になります。

小・中学教育課程は区立の義務教育機関と異なる点は多々ありますが、公立小・中学校や地域と連携し、積極的な交流や国際理解について知識や経験が高められる可能性を今後も模索していきます。

昭和22年3月15日に旧芝区、旧麻布区、旧赤坂区の3区の統合で港区が誕生し、まもなく**港区政70周年**を迎えます。2月も区主催のイベントが行われますので、ご興味がありましたら所管課にお問い合わせいただくか、区の広報誌をご覧ください。

2/1～28 ミナコレ2017冬（地域振興課文化芸術振興係：03-3578-2343）
 2/3～16 麻布未来写真館（麻布支所 協働推進課地区政策担当：03-5114-8812）
 2/5 日本の伝統文化紹介事業 三味線（地域振興課国際化推進係：03-3578-2565）



小倉りえこ プロフィール

- 港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒
- 米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- バイオベンチャー・製薬企業において、リウマチ、がん、線維筋痛症などの医薬品研究開発に従事
- 平成27年4月の改選で初当選。1期目スタート。

東京オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
 総務常任委員会 議会運営委員会

ご意見・お声をお寄せください

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601
 〒106-0045 港区麻布十番1-8-7 三幸園ビル
 Tel/Fax 03-3455-6208
<http://ogura-rieko.com>